

図書館だより

宮城県仙台三桜高校図書館
No.4 図書委員版
2019.07.18

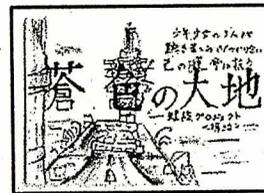
夏休み前の長期貸出始まる

一人5冊まで 返却日 8月27日(火)

最新：新着図書のお知らせ

人気作家の本が3冊、入りました。早い者がちです。

- 1 東野圭吾(著) 『希望の糸』 講談社
「新参者」加賀恭一郎シリーズの第11作目。
- 2 伊坂幸太郎(著) 『クジラアタマの王様』 NHK出版
夢と現実が交差する伊坂ワールド。
- 3 池井戸潤(著) 『ノーサイド・ゲーム』 ダイヤモンド社
日曜21時からのドラマの原作本。



では前回に引き続き、図書委員による本の紹介をお楽しみください。

新しい本は、手作りポップ付きで新着図書コーナーにあります。
見つからないときには司書に尋ねてください。
貸し出し中の場合には予約を受け付けています。

『手紙屋 雪篇』 喜多川泰(著) ディスカヴァー・トゥエンティワン

誰でも一度は考えたことはあるんじゃないでしょうか？

「何のために勉強するんだろう」「大学に行くことが自分にとって本当に意味があるのか」これはそんな思いをかかえる主人公を手紙屋との十通の手紙を通して、自分を見つめ直す本であり、考え方を教えてくれる本です。



『人間椅子』 江戸川乱歩(著) KADOKAWA

文豪が書いた本と読んでみたいけど、何やら読めばいいかなんか分からないミステリーが好き!! という方々におすすり。
また、短編集なので気軽に読みすすめることができます。
うすは「あ!」と驚かされるのですが、その後は必ずぞっとして鳥肌がたちました.....。

『猫探偵はタネギをかじる』 ヒロモト(著)

ニャーロツワ・ニャームズの『名推理』 宝島社
猫のニャトソンとニャームズによる動物ミステリー。
人間の世界を生きる動物たちの日常をニャトソンがおもしろく、ユーモアたっぷり言語っていく。
猫から見たこの世界、二匹の成長する様子や独特な表現や世界観がとっても面白いです。

『黒猫のいない夜のディストピア』

森晶磨(著) 早川書房

ポオの研究を続ける付き人は、街で遭遇した自分そっくりの人影に怯えていた。頼りの黒猫は些細なことで喧嘩になったまま出張に出て傍にいない。家に届いた不審な絵葉書、次第に怪しくなる母親の言動...付き人の周囲で一体何が起きているのか...。黒猫シリーズ、待望の再始動...!

『蒼色の大地』 薬丸岳(著) 中央公論新社

朝井リョウや伊坂幸太郎ら著名作家が集い、「海族」と「山族」の対立が時代ごとに書かれた「虫族プロジェクト」

このプロジェクトの明治時代を飾るのがこの一冊。

かつて幼馬川染だ。た少年少女が、海見我と海軍が戦争を続ける狂気の中で、それぞれの運命に抗い、奔走する。どんな物語です。

一冊完結作品なので、プロジェクトを知らない人でも読んでみて下さい。

『日本の絶景パレット』 永岡書店編集部(著) 永岡書店

毎日スマホばかりで目が疲れていませんか？ ストレスが溜まっていませんか？ 「でも、小説は長いじゃん...。」という人必見です。この本は写真がいっぱいで解説もわかりやすいです。少し息抜きがしたい、旅行の予習がしたい、そんな方にぴったりの本です。

『せつない星座図鑑』 森山晋平(著) 株式会社三才ブックス
かに座という星座を知っていますか。かに座は、12星座の一つで、横向きで大きく夜空にうかんでいると思います。そのかに座にもせつない物語があるのです。王から毒へび退治の命令を受けたヘルクレスが毒へびを叩きつけようとしたとき大きなかにが足元近づき足を叩こうとしました。しかしヘルクレスが足でかかとを踏むとかにはずが死んでしまいました。

『うちの執事が言うことには』 高里推素(著) 角川文庫

名門・烏丸(からすま)家の御曹司、花頼(かえい)。

誰よりも信頼する老執事・鳳と過す日々に胸躍らせ、留学先から帰国したのが、とにいたのは更衣月(まらぎ)という見知らぬ青年で...!!?

行方不明の父、真一郎が遺した突然の飛令により、不本意ながらも更衣月と主従関係を結ぶことに...。そんな中、二人の前に次々と起る事件...。痛快で破天荒なミステリー作品!!

『人外サーカス』 小林泰三(著) 角川書店

今宵、お目にかけますは、命をかけたサーカス・ショー。人間 VS 異形

サーカス団員がそれぞれの特技を生かして奇想天外な方法で吸血鬼との闘いに挑むも「アリス殺し」著者による、究極のサバイバルミステリー。

『破滅の刑死者』 吹井賢(著)

メディアワークス文庫
メディアワークス文庫賞受賞
辰橋トウヤは 雙ヶ岡珠子と共に
謎の事件に立ち向かう
あつと驚くどんでん返し